

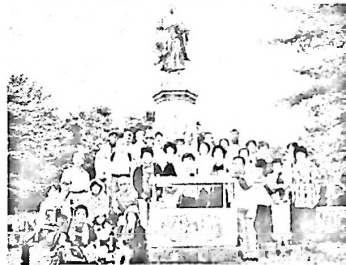


日新地区の敬老会を考える

平成22年度の日新地区敬老会は、第35回となる。昭和51年日新地区創立以来、休み無く続いてきたこととなる。「としよりの日」で始まり、昭和41年に国民の祝日「敬老の日」になってから日新は10年後の発足となる。祝日の原点の意味は「多年にわたり、社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を国民こぞで祝う日」でした。祝日が老若、自他ともに敬愛し、長寿を祝うこの日は、今も普遍でよいと思う。そして、敬老会はその形の表現の1つであろうと思う。近年、地区で65歳以上が1200名余、75歳以上が650名余、地区敬老会への出席者が200名弱で推移している状況は、現在の敬老会の有り様を物語っている。すなわち、出席者の心身の状態、会を運営する場所、時間、協力者を含む実行員数、予算など配慮すべき事項は、会の内容、規模を制約するものだが、非常に推測しがたいものに、出席者の心身の状況がある。健康に関することは、まだ分りやすい。敬老会出席を遠慮する人たちと、会の内容に関わるもの、ここに、敬老会を考えるポイントがあるように思う。高齢化社会が進む中で、団塊の世代の年齢層が、地区にしめる時代に移ってきている。10年後、20年後さらに…将来の敬老会をイメージしながら、原点はブレずに、変革してゆきたい。親睦中心の会、参加型の運動会型、テーマのあるサミット会談型など、一つの提言である。本年も企画、検討会がスタートし、例年の如く準備に入っている。75歳以上の方々是非参加していただきたい。

第35回 日新地区 敬老会
平成22年9月20日 8:30～受付
日新小学校 体育館

第4回ふれあいハイキング
吉崎御坊跡(御山)と鹿島の森
8月1日(日) 9:30公民館出発
36名が参加。夏日のウオーク乗切る



日新公民館 新任主事のごあいさつ

(過日主事公券の選考結果、市より委嘱、8/3着任)
福井市みのに在任の向川幸恵(むこうがわ さちえ)です。新人ですが、早く地域のみなさんに馴染み、役立つよう頑張ります。よろしくをお願いします。

生き生きと健康人生！
～元気が出てくる「おまじない」～
講師：理学療法士 山本 進 氏
8/24 19:00～20:30 公民館にて

平成22年度 日新地区テーマ

“みつめよう わがまち日新”

これまで、公民館まつりでテーマとして掲げてきた地区の活動目標を、年度の地区テーマとして、運営で選定して、決定しました。

公民館の動向

○ パソコン相談会 第2.4土曜日 13:30～17:00

夏休み恒例行事 底喰川ウオッチング

8月25日(水) 9:00～11:30 底喰川高水路
魚釣りや魚拓とり (詳細は回覧済広報紙を参照)

申し込みは 第1回地域子ども塾・福井学
8/15までに公民館へ 第2回子ども広場

○ パソコン研修会

7/10、11 ワードの基礎

7/24、25 エクセルの基礎



公民館教育事業

○ 第2回シルバー大学 7/8 13:30～15:30 法話

“高年悠々人生悠々” 講師：橋本正圓氏
67名が聴講

○ 第3回シルバー大学 8/7 13:30～15:30

“願おう! 平和な時代を” (記布済広報紙参照)

① 福井大空襲を語る 講師 林 正夫 氏

② ミニ演奏会 演奏者 杉本平八郎 氏他

○ いきいきライフセミナー “日新ちぎり絵” 製作作業
地区団体、施設の活動

誇りと夢・わがまち創造事業

H22年度誇りと夢・わがまち創造事業(福井市主催)

概要 1) 交通、環境、文化、広報の4つの部会

2) 予算;地区費40万円、助成金80万円

・ 文化 7/9 日新小の伝統文化体験活動支援

9/5 秋の七草鑑賞とお月見団子作り(詳細広報紙)

・ 交通 7/22 交通とまちづくり出前講座開催

・ 環境 8/22 底喰川定例清掃 8:00～9:00

7/25は7名の参加でした。

・ 広報 地区だより “ゆめにつしん” 14号 7月発行

☆ 健女会連合会 日新月報8月号発行

7/8 シルバー大学と共催 法話 講師：橋本正圓氏

☆ 地区社会福祉協議会

第1回地域福祉活動計画ワークショップ 7/3 40名参加

民生委員と福祉委員とのネットワーク座談会 7/16 19:00～

☆ 自主防災連絡協議会 月例会 8/3 19:00～21:00

☆ 日新婦人会 健康講演会 8/24 (詳細は広報紙参照)

☆ 日新体育振興会

にっしんファミリー健康ウォーク登録者募集中

8/1のふれあいハイキングを共催、サポート役に活躍

☆ 自治連 福井フェニックスまつり協賛日新地区民謡大会 7/25 上里白山神社境内にて

☆ 自治会 乾徳夏祭り 8/7 17:00～

☆ 日新視覚教育協議会 8/4 18:30～20:00
映画上映会(乾徳ふれあい会館)

日新青少年育成会、青少年育成市民会議日新支部
7/18 親子清掃

☆ 日新交通安全推進協議会 交通安全茶屋 7/25
交通指導員

交通安全協会日新分会

☆ 日新小PTA 8/1 資源回収

地区の教育関係

○ 日新小学校 TEL 22-0033

・ 夏休みは7/21～8/29の40日間

○ 藤島中学校 TEL 26-8876

7/1 第1回藤島中学校地域・学校協議会

○ ひまわり児童館 問い合わせ TEL 21-9590

0歳から18歳まで 開館時間 12:00～18:00

・ ひまわりじどうかんだより 8月号発行。(回覧参照)

わくわくらんど、おはなし会は8月3日、ビデオシアター

・ 子育てひろばは、学校夏休み中のためおやすみ
9月2日(木)より再開します。

○ 放課後子ども教室 H22年度放課後子どもクラブ
研修会(県立大交流センター) 7/13(火)9:40～12:30

子どもクラブ研修会 7/5(月) 9:30～(自治会館)

○ ニッキーズ (毎月第2水曜 10:00～11:30)

8/11 「水遊び」 公民館駐車場でプール準備

(子育て支援委員会)

○ スポーツ関連(大会出場)

・ 農口拓也君(小4)…全国ABCバドミントン大会

・ 古澤大樹君(福井農林)…高校総体、国体相撲

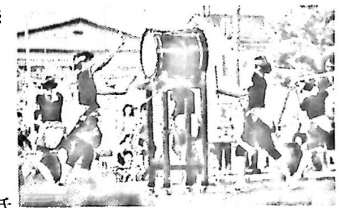
・ 梅井 翔君(丸岡)…高校総体、国体サッカー

・ 古市貴也君(福商)…全国高校野球(甲子園)

日新の四季

“夏祭り”

上里子ども大鼓



撮影日時

H22. 7.25

撮影者:松井良忠氏

日新の (独楽吟) 楽しみは 齢八十五で健康で 米寿傘寿が 目眩なるとき 2首作
ささやき (独楽吟) 楽しみは 閑暇のあり過ぎ テレビ漬け 心境解る 老境なるとき 中川幾一郎 (文里)



** みんなのまち日新の声 **

- ◎ 地区の資源回収が、日新PTA、健友会、婦人会の骨折りで、2ヶ月に1回定期的に収集するようになり、各家庭でもストックし協力してもらえるようになり、収益金も10万から15万円/年前後見込み有難い。
- ◎ 地域コミュニティー機能保持・活性化支援として、福井市は、自治会や、公民館のあり方に見直しをし、対策を打ち出している。行政主導に対し、民意が十分に配慮されているか注目してゆきたい。コミュニテバスの支援事業もその一つで、まちづくり日新の交通部会で検討することになり、早速、市の出前講座で認識を新たにしました。
- ◎ 底喰川の変遷 前回水鳥のウオッチングについての投稿を紹介したが当局により、草刈り清掃が実施されてしまったがカモは巣立ったろうか？今は、2年振りにミソハギが満開、更に整備されピンクの絨毯に変身
- ◎ ふれあいウォーキングよりひとこと (多数のコメントから抜粋)
 - ・ 進如の歴史の道を盛夏に尋ね修行と仏の教えを偲びました。
 - ・ 小1になりウォーキングデビュー、来年もぜひたいがんぼろぞー!
 - ・ せみしぐれ 進如の里で 寝寝かな!
 - ・ いにしえに 思いを馳せて 鹿島の森
 - ・ 何百年 雨風耐えて 島に立つ 樹木の生き様 我とくらべる
 - ・ 蝉の声 季節はずれの 吉崎詣り

まちなかの見聞記

日新の各地区では夏祭りが盛ん
文里地区では、フェニックスまつりに協賛した日新民踊大会が開催されにぎわった。堀ノ宮地区では、納涼祭が、乾徳地区では8月7日に恒例の夏祭りが行われる。



【日新公民館から、ウチワ寄贈のお願い】

敬老会が近づき、暑さに備え、余分にウチワが有りましたら提供お願いします
現在、社会を明るくする会から100本、地区で約50本、ハイキング、公民館まつりなどにも利用したく、さらに宜しくお願いします。

【日新ボラネットの活動】

- ・底喰川高水路の除草…中西正士氏、高橋定信氏、ボランティアの皆さん
- ・児童館のおはなし会 読み聞かせ(7月3回、火曜日の午後)
- ・図書ボラ、パソコンボラ、子どもクラブのスタッフ、日新ドリームスタッフ

【公民館へ本の寄贈】 単行本 7冊 谷典幸子氏(堀ノ宮)
小冊子 シリーズ物1件 瀬尾利弘氏(文里)

日新デイホームの案内 (社会福祉協議会)		
ひまわり児童館	8/4 (水)	10:00~12:00
八ツ島会館	8/11 (水)	10:00~12:00
乾徳ふれあい会館	8/17 (火)	13:30~15:30
日新公民館	8/25 (水)	13:30~15:30
健康マージャン会(公民館)	8/6, 20(金)	13:30~16:30

お知らせ

表彰

「小さな親切」実行章 (社団法人「ちいさな親切」運動本部)
猪坂 進氏 (文京5) 底喰川ミソハギの除草
大嶋 千寿子氏(文京5) 丸田公園の草木の手入れ

- 地上デジタル放送(地デジ) 問い合わせ先; tel 29-1095 テレビ受信者支援センター
- 地区健康相談会(7/22のみ) 7月22日(木)9:00~12:00(地区健康相談会のみ) 福井市保健センター tel 28-1256
- 日新シルバーバレーボールチームが優勝!
第15回福井シルバーバレーボール交歓全国大会年齢制限の部 朝倉リーグでがんばり優勝しました。おめでとう!

募集

- ◎ “福井市交通安全母の会”の会員募集 (日新交通安全推進協議会)
- ◎ 平成22年度 高齢者いきいき展 作品募集!
市内在住60歳以上の方 自作の1点に限る
H22. 9. 14~9. 17 地域交流プラザ アオッサ5Fギャラリー
応募、問い合わせ; 福井市役所 長寿福祉課 tel 20-5400
- ◎ 公民館だよりに投稿を! 日新の声、まちなかの見聞記、日新のささやき(俳句、川柳、独楽吟…など)にあなたの声を!
- ◎ 福井県警察官B(高校卒程度)、交通巡視員、少年警察補導員募集
受付期間;8/13~8/27 未来の県警を担う優秀な人材を求む!
詳細は花月交番(tel 21-0110 内戦505)又は福井警察署まで
- ◎ ペットボルのふた、ベルマークは、公民館にも収集箱があります。
家庭で集め、公民館に来館の折、ご持参ください。

環境(エコロジー)

“エコ検定(環境社会検定試験)”

環境問題に関する全国共通の試験。環境に関する知識を持ち環境を考える人づくりが目的。2006年から実施、東京商工会議所が地方の商工会議所と共催の形で全国各地で行っている。福井県は、武生、敦賀の会議所で、7月と12月に試験予定。公式テキストがあり、70点以上で合格、合格率は68%。全国の受験者数は年々増加、昨年は5万8千人。(福井新聞より) 環境(エコ)と地球温暖化問題は、紙の表裏の関係にも似て密接に繋がっている。内容も様々な事象を含む。整理して、認識を深める意味で一度勉強して受験してはどうでしょうか

旬(しゅん)の話 梅干は保存食として年中食べられ重宝するから、旬は無いといえるが、夏の強い日差しを浴びせる天日干しは当に造りの旬、ちなみに、天日干しは、実を殺菌し、種離れよく食べやすくする為という。

夏野菜は、暑い季節の健康維持を助けてくれる。ナス、トマト、キュウリ、スイカなどは、水分が多く体を内側から冷やし、カリウムが多く余分な塩分を排出、むくみを取る。オクラのねばりの元、ムチンは消化吸収を助け、殺菌作用があるので、生もの付け合せに最適。新ニンニクは身体を温め、冷えやすい人にお薦め。旬の夏野菜で健康をキープしよう!

男 名2783(+3) 世帯数2282 (+6) 平成22年7月1日現在
女 名2787(+9) 高齢化率 22.80 %
合計 名5570(+12) 後期高齢化率 12.38 % (日新の人口推移)

防犯コーナー

◆ 緊急時 110番

◆ 相談、困りごとは #9110番へ

・花月交番だより(tel0776-21-0110 内線505)

日新地区犯罪発生状況

福井警察署22年度統計 6/末現在のデータより抜粋

- ① 自転車盗 12件
- ② 万引き 7件
- ③ その他刑法犯 6件
- 公民館館内合計 40件

・交通安全について(市交通安全課tel 20-5387)

安全運転の要点は、注意散漫となる「ながら運転」の回避です。

- ① 携帯電話を使用しながら
- ② 同乗者と会話しながら
- ③ 考え事をしながら
- ④ イライラ、カッカしながら
- ⑤ 眠気に襲われながら

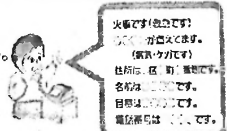
救急講習会(AED)を受けてみませんか
詳しくは中消防署までお問合せください



火災がおきたり、救急車が必至なときは、早く通報することが大切です。落ちついて、はっきりと係員の質問に答えてください。

福井市中消防署
☎ 22-0119

正しい119番通報のしかた
火災がおきたり、救急車が必至なときは、早く通報することが大切です。落ちついて、はっきりと係員の質問に答えてください。



福井市中消防署
☎ 22-0119

防火防災メモ

9月9日は《救急の日》

9/5~9/11は 救急医療週間

119番通報(火災・救急・救助)

【119番通報の注意】

- 1 災害発生場所(住所、地名)をかみならず告げる。
- 2 場所が不明な時は一般電話から119番する。
- 3 電話番号は、すぐに言えるようにしておく。

住宅用火災警報器設置は済みましたか?

平成23年5月31日までに「住宅用火災警報器」の設置が義務化。

総ての寝室に、煙検知の火災警報器を!

「住警器 我が家の小さな消防士」(文京 渡辺翔子さんの作品)

【平成22年8月号 編集後記】

梅雨明けから猛暑へと自然の変化は、人の生活を翻弄させる。水害、農作物異常、熱中症などなど…。幸い、日新地区近隣では、特記する異常はなかった。もって、「他山の石」とすべくわが身、我が地区を振り返り、自然の災害、人災を減少させたい。こうした防災に対する源泉に目に見えない心のつながりがあると思う。広報紙には、地区のいろんな情報を掲載し、そこから、人と人、心と心のつながりが生成されればと思いつつ、頑張りたいと思います。